

銀河を吹き渡る風をみる

— X線天文衛星XRISMのみる宇宙 —

2024 **7.28** (日)

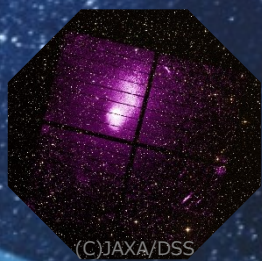
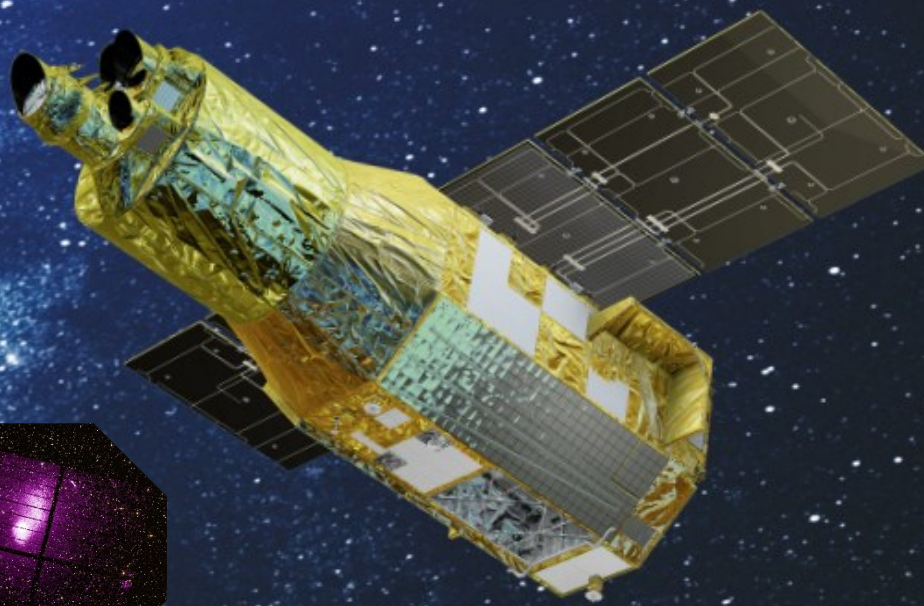
13:00~14:30 (12:30開場)

入場無料

申込不要

定員300名

手話通訳あり



(C)JAXA/DSS

会場

中央文化センター (ホール)

稲城市東長沼2111

(C)JAXA

XRISM(くりずむ)は、JAXAがNASAやESAと共同で開発し2023年9月に種子島宇宙センターから打ち上げた、日本で7番目のX線天文衛星です。

短命でおわったASTRO-H(ひとみ)の後を継ぐ軌道天文台として、2018年から世界の期待を受けて開発されました。XRISMが見せてくれる、超高分解能分光による新しいX線天文の世界とは何か。

観測の現状とあわせて、パンデミック下での国際共同開発など打ち上げに至る苦労話もご紹介します。

講師 **田代 信** 氏 XRISM研究主宰者・埼玉大学 教授

1963年、福岡県生まれ。東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。博士(理学)。東京大学大学院理学系研究科助手、埼玉大学理学部助教授などを経て、2007年より埼玉大学理工学研究科教授。2017年より宇宙科学研究所特任教授を併任。

大学院時代からX線天文衛星に搭載する観測装置の開発に携わってきました。日本のX線天文衛星「あすか」、ASTRO-E、「すざく」、「ひとみ」のほか、NASAを主体としたガンマ線バースト観測衛星Swiftの搭載観測装置の開発にも関わってきました。2017年からは研究主宰者として、XRISM(くりずむ)衛星の開発にのめり込み、昨年9月の打ち上げ後は、観測計画のお世話をしています。泥臭いものづくりと、浮世離れた宇宙物理の世界を行ったり来たりしています。

問合せ いなぎICカレッジ事務局・稲城市教育委員会 生涯学習課
稲城市向陽台4-6-18 城山体験学習館内 (火~金 10時~16時)
Tel 042-370-2822 Fax 042-378-3233 HP <https://www.inagiic.net/>

